2021 ～ 2022 年度
ＲＩテーマ
SERVE TO CHANGE LIVES
奉仕しよう　みんなの人生を豊かにするために
奉仕しよう　みんなの人生を豊かにするために
国際ロータリー会長　シェカール・メータ（国籍・インド）

2720 地区
別府中央ロータリークラブ

例会日　火曜日　12 時 30 分
ところ　ANAインターコンチネンタル別府リゾート＆スパ
〒874-0000 別府市大字鉄輪499番地18
TEL（0977）66-1000　FAX 66-1002
事務所　別府市西野口町 1 番 1 号 青山通りビル 3F
〒 874-0931　TEL（0977）23-9000
FAX（0977）23-9019
http://www.beppu4rc.jp/chuo/
E-mail:info@beppu4rc.jp

理事　梅津　圭二　理事　平野　英壽　役員　会　長　森園　伸也　会　計　河村　貴雄
〃　平野　教康　〃　髙宮　勝美　副会長　梶原　和朗　ＳＡＡ　西馬　良和
幹　事　佐々木久宜

VOL. 34 - 13
2022 年 1 月 11 日

第 1482 回 例 会

会報担当　森　宗明

◆点　鐘　12：30
◆国　歌　君が代
◆ＲＳ　奉仕の理想

会長の時間　会長　森園　伸也

皆さん、こんにちは。本日の会長の時間です。昨年の12月５日に別府平和園に於いて開催された餅つきボランティア／杵の贈呈への感謝のお手紙をいただきましたのでご紹介いたします。
主の御名を賛美いたします。
拝啓
この度は別府平和園の子どもたちのために、杵をいただきまして本当にありがとうございました。
お陰様でお餅つきでは大活躍しており、子ども達も杵を手に取り「お餅をついてみたい！」と、とても楽しそうでした。
別府平和園は日本福音ルーテル教会が支援する児童養護施設で、40～50名の子どもが暮らしています。 わたしたちの社会には予期できない災害や事故、あるいは親の離婚や病気、また不適切な養育を受けているなど、さまざまな事情により、家庭による養育が困難な子どもたちがいます。 児童養護施設はこのような状況におかれている２歳から18歳までの子どもたちに人としての権利を保障し、社会的に養育・保護する施設です。
別府平和園では全職員がキリストの愛の精神に基づき、一人ひとりの傷つき病める小さな魂をやわらかく包み込み、生き生きと美しく育て、将来「世に役立つ社会人」として自立できるように支援しています。

◆出席報告　衛藤　秀子

本日の出席	会員総数	19 名
	出席者	13 名
	事前メイクアップ	0 名
	理事会承認	0 名
	出席免除	4 名
	欠席数	2 名
	出席率	86.67 %
前々回の訂正 12/9	出席率	57.14 %
	事後メイクアップ	0 名
	理事会承認	0 名
	出席免除	6 名
	修正出席率	57.14 %

連続　－ 回
通算　751 回　100 %

・メイクアップ
事前
事後
欠席　中尾、竹下
理事会承認
出席免除　溝部、村津、森、木村

しかし昨今の社会的事情から、このような支援を必要とする子どもたちはますます増加し、また、それにかける国家予算には限りがあるのが現状です。
このような社会環境の下に別府平和園の全職員は社会福祉専門職としての責任と誇りと自覚を持って子どもとその家族を支えていく決心をしています。
このようなわたしたちの活動に賛同していただ

き、そしてご支援いただいたことを子どもたちや全職員にも伝え、感謝の意を表したいと思います。
今後も別府平和園を覚えていただけたら幸いです。このたびは本当にありがとうございました。
主の平安が 国際ロータリー第2720地区 別府中央ロータリークラブの皆様にありますように

敬具

幹事報告　佐々木久宜

―職業奉仕月間―

明けましておめでとうございます。
本年もよろしくお願い申し上げます。

1．本日の卓話
「ゲスト卓話」
㈲明石文昭堂　店 長　明石 佳子 氏

2．本日のゲスト
明石 佳子 氏（㈲明石文昭堂　店長）

3．『ロータリー適用相場変更』のお知らせ
1月1日より、全ての振込みに対する適用相場（ロータリーレート）が下記の通り変更となりますのでお知らせ致します。
1ドル　115円　（12月：114円）

4．12月21日（火）18：30～ホテル山水館に於いて「忘年会」を開催致しました。
出席者：森園伸也会長、衛藤秀子、平野英壽、平野教康、亀井　孝、中畑千恵子、佐藤豊和、竹下一枝、梅津圭二、佐々木久宜　各会員

5．1月4日（火）18：30～春香苑に於いて「新年家族会」を開催致しました。
出席者：森園伸也会長ご一家、平野教康ご夫妻、亀井　孝ご夫妻、梶原和朗、木村きぬゑ、中畑千恵子、佐藤豊和、竹下一枝、梅津圭二、佐々木久宜　各会員

6．本日、例会終了後～インターコンチネンタル例会場に於いて「第7回定例理事・役員会」を開催致します。

7．お祝い
会員誕生日　森　　宗明会員（1月16日）
※記念品をお渡し致します。
皆　　勤　森　　宗明会員（1月10日＝27年）

8．例会変更のお知らせ
別府北RC　1月12日（水）の例会は、例会変更の為、同日12：30～13：30別府市内RC合同事務局でサインMU受付
別府東RC　1月13日（木）の例会は、例会変更の為、同日12：30～13：30ホテルサンバリーアネックスでサインMU受付
大分中央RC　1月18日（火）の例会は、例会変更の為、同日12：00～12：40ホテル日航大分オアシスタワーでサインMU受付

9．次回例会の予定
18日（火）　例会はありません。
1月25日（火）「ゲスト卓話」湯布院金鱗湖クリニック院長　岩里桂太郎氏

10．本日の回覧
①「1月第2例会 1/25」出・欠席
② ガバナー月信1月号

11．本日の配布
① ロータリーの友1月号

スマイルボックス　担当　亀井　孝

○森園会長
先週は新年早々家族会員にお年玉をありがとうございました。妻と娘が大変よろこんでいました。感謝してスマイル!!
ゲストの明石さん、本日は卓話楽しみにしています。

○佐々木会員
明石さん、別府中央RCへようこそ！卓話楽しみにしています。本日よろしくお願いします。

○河村会員
本年もよろしくお願いします。明石さん卓話楽しみに出席しています。日頃出席率の低い私ですが……。

○衛藤会員
令和四年最初の例会ですね。おめでとうございます。新年会(四日)には欠席で失礼しました。
寒中に朝夕がんばる若い人
何と申しても若さにはかないません。皆さん、この年寄りを今年もよろしくお願いいたします。

○髙宮会員
皆様あけましておめでとうございます。
今日は明石桂子さんの卓話を楽しみに出席しました。店長宜しくお願い致します。

○亀井会員

皆様あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いします。

明石文昭堂様、ようこそ別府中央ＲＣへ。私事ですが、50年来お世話になっています。感謝してスマイルです。

○梅津会員

今年もよろしくお願いします。

明石さんようこそいらっしゃいませ。卓話よろしくお願いします。

○平野(英)会員

明石様、ようこそ別府中央ロータリークラブへ。

○西馬会員

皆様、ご無沙汰しております。今年もよろしくお願い致します。

明石様､今日はようこそお越し下さいました。卓話楽しみにしております。

○梶原会員

明石さん、ようこそ別府中央ＲＣへ。卓話楽しみにしています。

あと、青森山田強すぎです。

○中畑会員

今年初めての例会、ゲスト卓話楽しみにしています。

今年の目標は、昨年より一歩前に進む。

2022スマイル。

○平野(教)会員

明石様ようこそ別府中央ロータリークラブへ。

今日の卓話楽しみにしています。

卓　話

今回は防災知識向上と地域防災力強化

㈲明石文昭堂　店 長　明石 佳子 氏

「そなえちょこっとプロジェクト」そうだ！備えておこうっと！！ちょこっとでも備えることで安心感をということでお話させていただきました。

私どもの会社は創業95周年で文具・画材店のお店です。

災害後様々な企業や施設・学校に防災衛生用品を納品しておりましたが、個人のお客様のニーズにより店頭にも防災衛生用品のコーナーを設けております。

店頭に並べる商品を選定するのに自分たちが実際に使用または試食を行ない本当に便利なものや美味しいと感じたものを基準に選定しました。商品を選定していく中で私個人も防災衛生用品や防災食の進化に驚き感動しました。

この想いをより多くの人に、特に子どもたちに知ってもらいたいと考えていた時に県の子育て応援活動リーダー養成研修の存在を知り、参加を決めました。

この研修では県内各地から職種も様々な子育てに関わる人たちが集まり、まだ取り組んでいない活動にフォーカスしてこの「そなえちょこっとプロジェクト」が誕生しました。

「そなえちょこっとプロジェクト」の中の一つとして最初に取り組んだのは「防災食ピクニック」という防災食について広める活動です。

なぜ「防災食ピクニック」となったかというと大分県内の０歳～12歳のお子様がいる保護者を対象に防災食についてのニーズ調査を行なったところ３日間で157件の回答がり、防災食自体を食べたことがあるか？の設問に対して「ない」の回答が32.5％もあったが、防災食の体験に参加してみたいか？の設問に対しては約75％の方は参加したいという回答が出ました。また防災食を備えているかの設問に対して46.3％の方が備えていないという結果でした。

そのニーズに応える形で「防災食ピクニック」は始まりました。

子育て世代の皆さんの災害時の不安軽減の力になりたい！と思い30分程の防災ミニ講座と30分程の防災食の試食体験の計１時間程度の講座となっております。

講座は世代や状況によっても変えています。内容は災害の種類を説明し、住んでいる地域がどのような災害の可能性があるのかを想定するため国土交通省が運営する「重ねるハザードマップ」や防災科研の「地震10秒診断」等のデジタルコンテンツを利用し災害を自分事として考えるきっかけづくりをしています。また子どもたちにも分かるように地震がどうして起きるか説明します。

その後､各講座会場で地震が発生したと想定し、どんな状況になるのか伝えていきます。例えば震度６弱の地震が発生した場合は次のようなことが実際におきます。①立っていることが困難になる②家具が移動したり倒れたりする③壁のタイルや窓ガラスが破損、落下の恐れがある④耐震性の低い木造建築物は瓦が落下したり建物が傾いたりする恐れがある。このような状況を少しでも良くするために出来ることがあります。

まずは地震が発生したと感じたらダンゴムシのポーズを取りましょう。ダンゴムシのポーズは低く（DROP）頭を守る（COVER）動かない（HOLDON）ようにします。また乳幼児を守る際は包み込むようにダンゴムシのポーズをしましょう。次は家具の固定です。同じマンションの隣同士で転倒防止をしている家庭とそうでない家庭を比較した写真を見てもらい家具の固定の重要性を伝えます。この２つを取り組むだけで被害が軽減できます。

もしも、あなたの街で災害が起こり停電やガスの停止・断水が発生した場合どのくらいの影響があり、どのような状況になり、どういった防災用品が必要になるのかも伝えます。

その後、防災食の体験講座に移り様々な防災食の紹介をしたのち実際に防災食を作り食べます。子ども達のみの場合作る防災食はアルファ米の携帯おにぎりで、水で１時間後、お湯で15分後に食べることが出来ます。この携帯おにぎりの特徴は４つの味（昆布・鮭・わかめ・五目おこわ）があり、手を汚さず、食器を使わず、洗い物も出ず、美味しい三角おにぎりが出来上がることです。カピカピのお米が（パッケージを開けるだけで子どもはおにぎりの美味しい香りがすると目を輝かせます）お湯やお水を入れるだけでふっくら美味しくなる！しかも三角で手も汚さず食べることができる事に皆感動します。対象者に合わせおにぎり体験に加え様々な防災食の試食体験も好評で子育て世代の方に伝える際には、ハンバーグ・サツマイモのレモン煮･パン･アレルギー対応のクッキーなども食べます。子どもたちと一緒に食べる際に伝えてほしいことや、どのようなときに体験すると良いかなども伝えます。この体験した感動が学んだ知識として深く子どもの中に残ります。

大人は我慢できるが子どもたちは災害時であっても口にしたことがない食べ物や美味しくない食べ物は食べようとしません。普段から災害を想定し、子どもたちに防災食を食べる機会を設け防災用品にも慣れることが必要なことではないでしょうか。きっとこの体験が結びつく日がくるはずです。

災害はいつ来るかわかりません。でもその時少しでも自分や周りの皆と生き抜くことが出来るように、学び準備しておくことがとても大切です。災害は自分だけでは乗り越えられない。周りの人との協力が必要です。今回をきっかけにこれからも減災のための知識を学び続け何かあった時でも命を守れるよう準備をし続けることが大切です。

現在「大分県子育て応援活動推進事業」として県の子育て未来課より応援頂き大分県内の各地の学童クラブ・子育て支援センターなどへ講座を開催しています（令和４年２月まで）。

また､子どもたちや子育て世代からだけでなく、各地の防災士会や自治会などからも、近年の防災食、防災用品の進化を伝えその上で家庭備蓄をどうすればよいか、それが地域防災力の底上げに繋がると多く講演の依頼があり伝え続けることの大切さを痛感しています。

今後も県内各地の方が一人でも多く防災が身近になり、ちょこっとでもそなえてみよう！と思ってもらえるよう活動していきたいと思っておりますのでご支援よろしくお願いいたします。